



1 戦国武将ドーナツは3〜8月春夏限定でトマトやメロンなどが登場。9〜3月は秋冬限定でいちじくや栗など5種類が並びます 2 服部小平太（一忠）が今川義元に一番槍をつけ、毛利良勝が討ち取ったといわれることから槍を模したパイを製作。サクサク食感なのにこぼれにくく、食べやすいのが特徴です 3 ショーケースに並ぶスイーツは70種類以上。ひと切れが大きく、満足感は十分です 4 キャラクターの絵は10種類。今後も増えていく予定です 5 眺めるだけで楽しい商品の種類の多さは、10人のスタッフが製造しています 6 ケーキや焼き菓子がずらり。奥にはカフェスペースもあります

「親しみやすさを感じてもらおうと、つかけにのびの良い」と、狙いを話します。通信販売でも人気が出ており、現在は季節限定の商品も含めて全17種。「大河ドラマが流行すると、井伊直虎はありますか」など、問い合わせをいただくことも多く、できる限り要望に沿えるよう製作しています」と中村さん。

他にもあります！

豊明名物

アイスデザート
お花のカスターナ

パリッとしたカラメル、滑らかで濃厚なブリュレに、かわいいエディブルフラワーを飾っています

Brown Beans
住所：豊明市新栄町5-41
TEL:0562-85-3988

桶狭間太鼓

戦国時代の兵糧である干飯、豊明市の花のひまわりの種などを、陣太鼓の形に仕上げました

ナカノ金物
住所：豊明市三崎町三崎4-5
TEL:0562-93-1017

曜日に関わらず混雑するマリヌ洋菓子店。道路を挟んだ向かい側にも駐車場があります

マリヌ洋菓子店
住所：豊明市新栄町下一の割 72-11
☎0562-93-1251 駐車場：あり
営業時間：10時〜20時
定休日：不定休
http://cake-east.com/malines/

1 について考えたとき、先輩の多くが食品製造業に就いていると知ります。「自分で一から商品をつくる、創造性のある仕事がつくりたい」と思いました。同じ食品をつくる仕事なら、技術を身につけて、商品を発信したいという気持ちが強かったんです」と中村さん。マリヌで後継者を探していたこともあり、洋菓子の道を選びました。

人が開いた洋菓子店は全国に60店以上あります。4年半後には、フランス・パリの老舗、ルノートルの料理学校へ留学しました。「学んだことが本場で通じるか、腕を試したかったんです。結果、身につけた技術に間違いはなかったと確信が持てました」と振り返ります。流行の先端をいくフランス菓子に刺激を受け、半年後帰国。「本場の味を再現しても、日本人の舌に合わないければ食べてもらえません。マリヌに来てからも勉強の日々です」と。地元の洋菓子店」として求

められる味を宇野さんから学ぶこと3年。経営も勉強し、ついにマリヌを引き継ぎました。豊明市に名物を考案 戦国武将ドーナツが誕生

「常に挑戦をしないと飽きが出てしまうため、終わりのない試行錯誤に苦戦します」と中村さん。豊明に名物が少ないことに着目しました。「遠方に出かけるとき、自分の地元がどんな場所なのか紹介できる土産があるといいと思うんです。仕入れて出入りしていた営業担当者からの提案があり、全国的に有名な桶狭間の戦いに焦点を当てました。ここで考案されたのが、戦国武将ドーナツです。茶が好きな豊臣秀吉には抹茶味、加賀百万石でおなじみの前田利家には、金沢の兼六園がカエデで有名なことからメープル味と、武将をイメージした味を追加。まずは7種類をそろえ、立案から1年かけて販売に至りました。

器が槍であったことにちなんで、「一番槍パイ」を製作。戦国シリアの菓子には、桶狭間の合戦や関連する武将についての説明書きを付けています。「贈り物にも選んでいただく場面が多いので、菓子を通じてまちを紹介する役目があると思っています」。桶狭間古戦場伝説地保全のために寄附も、豊明のまちおこしに力を注いでいます。

誰もが笑顔になる菓子を 通じて地域の魅力を発信

マリヌのこだわりは、いろいろな世代の人に食べてもらうことを想定した、誰からも愛される味。ラインアップを増やして好きな味を選べるようにし、甘すぎず、特徴的すぎない商品を提供しています。「家族が集まったとき、苦手なものがあった全員でケーキを食べられないのは寂しい。珍しくなくとも、みんなで食べられる菓子を目指しています」と中村さん。

中村さんが目指すのは、菓子を通しての市町の垣根を超えた地域おこしです。「全国で知られる戦国武将の7割は愛知県出身といわれます。桶狭間の戦いだけでなく、武将を地域の誇りとして広めていきたい。まちに寄り添って、これからも前進していきます」と中村さんは力を込めます。地域の洋菓子店、マリヌ。豊明と愛知県の魅力を、菓子を通じて発信していきます。



名門、足利家の一門にあたる今川家。そのイメージから、今川義元は公家風に描かれます。通年販売されている戦国武将ドーナツではいちご味

巻頭特集

地域に愛されるマリヌ洋菓子店 豊明の新ブランドを発信

手土産や誕生日ケーキなど、普段使いに選ばれるマリヌ洋菓子店。老若男女問わず愛される素朴な味とラインアップが人気で、店は連日にぎわいを見せています。5年前、地域の歴史にちなんだ「戦国武将ドーナツ」を発売。地域おこしにも貢献しています。



今川軍5000人に対し、織田軍は2000人で挑んだとされる桶狭間の合戦。織田信長は、戦国武将ドーナツでブレインの他、季節限定の味もあります



商品を一からつくりたい 8年の修業を経て店を継ぐ

マリヌ洋菓子店の前身は、名古屋西区にあった菓子の卸。自ら製造販売がしたいと、43年前創業者の宇野草さんが豊明市に洋菓子店をオープンしました。現在「マスター」と呼ばれているのは、代表の中村嘉宏さん。平成14年に叔父の宇野さんから店を継いでいます。中村さんは名古屋市熱田区の出身で、高校生の頃からマリヌで手伝いをしていました。しかし、製菓業に進むつもりはなく、日本大学水産学科へ進学。分子生物学を学び、かつお節の煮汁の活用方法について、卒業研究をしていました。大学3、4年生で就職